

住民意向調査速報版（富岡町・葛尾村）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、富岡町及び葛尾村の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

富岡町

調査主体 復興庁、福島県、富岡町
調査対象 全世帯主（6,943世帯）
実施期間 平成29年8月28日～9月11日
回答者数 3,203世帯（回収率46.1%）

葛尾村

調査主体 復興庁、福島県、葛尾村
調査対象 避難指示が解除された地域に住民登録を
していた世帯の代表者（557世帯）
実施期間 平成29年10月2日～10月16日
回答者数 343世帯（回収率61.6%）

2. 調査結果のポイント

別紙1～2のとおり

本件連絡先
（原子力災害復興班）担当：高田、中島
電話：03-6328-0250（直通）

富岡町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、富岡町の共同調査は6回目。

(1) 帰還の意向

既に富岡町で生活している	2.9%(－)
戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)	11.1%(16.0%)
戻りたいが、戻ることができない	20.2%(－)
まだ判断がつかない	17.7%(25.4%)
戻らないと決めている	46.8%(57.6%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H28.8)結果

(2) 帰還を判断する上で必要な情報(上位抜粋)

道路、学校、病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の見通し	49.8%
どの程度の住民が戻るかの状況	46.3%
放射線量の低下の見通し、除染成果の状況	42.0%
原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)	35.3%
帰還困難区域内の復旧・復興計画	29.0%

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由(上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	56.3%
医療環境に不安があるから	44.6%
避難先の方が、生活利便性が高いから	41.7%
原子力発電所の安全性に不安があるから	41.5%
水道水などの生活用水の安全性に不安があるから	35.8%

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

(4) 富岡町とのつながりを保ちたいか

そう思う	50.3%
わからない	32.1%
そう思わない	8.6%

※帰還の意向で「戻りたいが、戻ることができない」「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

葛尾村調査結果のポイント

- ・将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・復興庁、福島県、葛尾村の共同調査は4回目。

(1) 帰還の意向

現在、葛尾村に戻っている	17.2%(9.9%)
戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)	26.5%(33.5%)
現時点でまだ判断がつかない	22.7%(21.0%)
戻らないと決めている	24.2%(28.3%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H28.11~12)結果

(2) 帰還を判断する上で必要な情報(上位抜粋)

どの程度の住民が戻るかの状況	39.7%
道路、病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期の目途	38.5%
放射線量の低下の目途、除染成果の状況	37.2%
働く場の確保の目途	32.1%
原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃炉の状況)	30.8%

※帰還の意向で「現時点でまだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由(上位抜粋)

避難先に住居を構えたから	49.4%
避難先の方が生活利便性が高いから	45.8%
医療環境に不安があるから	42.2%
高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから	38.6%
葛尾村外への移動交通が不便だから	26.5%

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答